



2021.1.1 7:47

神杉町報

神杉地区
自治会連合会
TEL 66-1323
2021/1/12 発刊
12月末(前月比)
人口 1,534(+2)
世帯 608(▽1)
ホームページ
kamisugi@m.city.jp



明けましておめでとうございませ
新しい年が良き年でありますよう心
からお祈り致します。
地域の皆様には、日ごろから神杉
地区自治会連合会の運営及び行事に
つきまして格別のご理解とご協力を
頂き深く感謝申し上げます。令和二
年度は、新型コロナウイルス感染で
始まり、四月開催の定期総会を中止
とさせて頂いたばかり「書面議決書」で
の対応となりました。集計の結果全
ての議案が賛成多数により議決され
ました。ご協力ありがとうございました。

コロナ禍での行事開始となり、五
月の神杉合同運動会、六月の神杉大
田植、九月の神杉地区敬老会、十一
月の神杉ふれあい祭り等神杉の三大
行事を含む多くの行事が中止となり
ました。こうした中、いくつかの行
事・講座等は、規模縮小や延期など
感染拡大防止対応策を取って行事が
出来ましたことは、地域の皆様のご
協力のお陰であり、感謝の気持ちで
いっぱいでございます。
さて、神杉の拠点整備につきまし
ては、五つの要望の内四つの願いが
実現しましたが、コミュニティセン
ターの改築(移転新設)につきまし
ては、諸般の事情で進展しませんで
した。神杉コミュニティセンター改
築促進委員会として、令和元年九月

十八日に続き、令和二年八月二十六
日に福岡市長に要望書を提出し改
築のお願いをしました。令和二年十
一月十七日には市議会議員・翌十八
日には市議会総務常任委員長あて
に陳情書を提出し、令和二年十二月
十四日には市議会総務委員会に陳
情内容について説明をさせて頂いた
だいたところでした。
現在のコミュニティセンターは、
災害時等の基幹避難所として指定
されておりますが、二階の避難ス
ペースが狭い(十五名)、高齢者・障
害者の安全・衛生・利便性が悪い、
感染症が発生した場合、健常者と有
症者のエリア区分ができない等大
きな問題点があります。施設の老朽
化を始め生涯学習等様々な活動に
対して、時代の変遷とともに安全
性、利便性が機能的に支障をきたす
など、住民ニーズに合わなくなった
施設となつています。神杉地区住民
の総意のもと改築の実現に向けて
粘り強い運動を進めたいと思いま
す。なお、十二月に市議会提出の陳
情書では、(川西・田幸・和田)の三地区から
も、支援を頂き、お陰様で十二月議
会で採択いただきました。
また、神杉の大きな行事でもあり
ます神杉地区防災訓練を規模縮小
して昨年十二月十三日に行行政(危機

管理課・地域振興課)消防団神杉
分団と二十八全ての自治会の参加
のもと、各地域自主防災会での連
絡体制の確認や地域避難所(各区)
での住民相互の安否確認等を訓練
目的として実施しました。引き続き、
防災委員中心に補助避難所(神杉
小学校体育館)の開設を感染症対
策を想定し、避難所設営の体験を
実施しました。災害時の避難の基
本になります防災訓練も地域住民
の皆さんの積極的な参加や協力も
あり年々充実しており力強く思っ
ていきます。しかし、反省するところ
や強化するところもいろいろあり
ます。住民の安全の重要性を改
めて認識し、皆さんの意見を活か
し安全な地域づくりにつなげてい
きたいと思えます。引き続きよろし
くお願いいたします。
今年度は、災害がないよう、また
コロナウイルス感染が終息するこ
とを願いながら、新たな年に向け
神杉まちづくりビジョンの基本目
標であります「天下り伝説の里に
「人々がふれあい、地域が輝く
まちづくり」を目指し、「住んで
良かった神杉」「持続可能な神杉」
の実現に向けて、皆さんと連携し
努力してまいりますので今年もよ
ろしくお願いいたします。
皆様のご健康とご多幸を祈念し
ます。
令和三年 元旦
神杉地区自治会連合
会長 有田 雅俊

2020.12.13

第6回

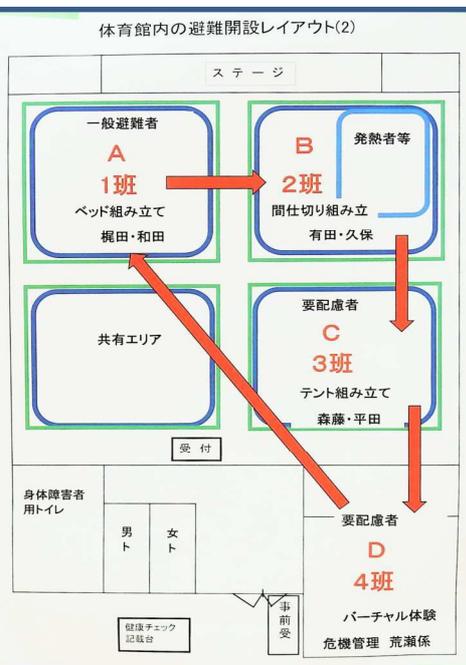
避難訓練

実施

神杉地区自主防災会(会長 有田雅俊)は令和2年度のコロナ感染予防に配慮した防災訓練を実施した。今回の訓練は「自分の命は自分で守る」ことを基本に、各地域防災会組織の住民相互の安否確認と避難所開設時を想定した会場設営手順を体験した。訓練は昨年同様、午前8時に三次市災害対策本部から避難指示(勧告)が発令されたと仮定し、訓練開始の連絡は自主防災会本部から通知せず、各防災会の判断で地域避難所へ昨年度配布の防災バックを背負い集合した。防災委員は地域内の全住民の安否確認を行い人数を電話にて本部へ報告した。

その後防災委員は神杉小学校体育館に集合し有事の際の手順として防災会本部を始め体育館内のレイアウトに従い・一般避難者のAゾーン(ダンボールベット組立て)・発熱者等のBゾーン(間仕切り組立て)・要配慮者のCゾーン(簡易テント組立て)・要配慮者のDゾーン(市危機管理課のVR災害体験)の4班に分かれ設営作業を行った。その後10名がビブス(体調記載のゼッケン)を着用し①健康チェック②事前受付③受付を通り各エリアに誘導し分散された。今回の訓練指導者は消防団神杉分団2名及び三次市女性消防隊員3名と防災士3名の8名により訓練を受けた。又、コロナ三密回避から出来るだけ短時間の訓練とするため午前十一時には終了とした。参加者の声として「有事の際に役立つ」「防災委員は短期で代わる繰返し訓練を望む」等の要望があった。

表に従い・一般避難者のAゾーン(ダンボールベット組立て)・発熱者等のBゾーン(間仕切り組立て)・要配慮者のCゾーン(簡易テント組立て)・要配慮者のDゾーン(市危機管理課のVR災害体験)の4班に分かれ設営作業を行った。その後10名がビブス(体調記載のゼッケン)を着用し①健康チェック②事前受付③受付を通り各エリアに誘導し分散された。今回の訓練指導者は消防団神杉分団2名及び三次市女性消防隊員3名と防災士3名の8名により訓練を受けた。又、コロナ三密回避から出来るだけ短時間の訓練とするため午前十一時には終了とした。参加者の声として「有事の際に役立つ」「防災委員は短期で代わる繰返し訓練を望む」等の要望があった。



三次市議会採択

昨年十一月十七日に市議会議長、同十八日は総務常任委員長宛に神杉コミュニティセンター改築の陳情書を提出し十二月十四日同委員会にてコミセン建屋の現状について有田会長及び有田事務局長が説明に上り、特に基幹避難所としての役割、高齢者対応の施設面でご理解いただき、全会

一致で承認されました。その後の市議会の審査に期待しておりましたが、令和二年十二月十八日の市議会定例会にて全員一致で採択された旨通知がありました。今後改築に向けては、市の執行計画に盛り込んでもらう必要があります。これからが正念場となります。

三次議事発第7040号
令和2年12月18日

神杉コミュニティセンター改築促進委員会
委員長 有田雅俊様

三次市議会
議長 新家良和



陳情書の結果について (通知)

令和2年11月17日付けで提出された下記の陳情書について、令和2年12月定例会における、審査結果を通知します。

記

陳情件名 神杉コミュニティセンターの早期改築について

結果 採択

総務委員会での現状説明 12月14日



説明中の有田会長・有田事務局長



神杉自治会連合会臨時総会

の結果について

当連合会では継続的に地域の生活環境の改善と向上を行う中で、持続可能な事務局として組織の若返りを図りたいと考えています。この度、空席でありました、事務局次長職につき有田会長より候補者選任報告があり、自治会連合会規約第9条4項 会長が選任し総会で承認となっていることから、一〇月の理事会、自治会長会議を経て同規約第一四一条一項により書面による臨時総会を開催いたしました。その結果について次のとおりご報告いたします。

一、議案 事務局次長を 二〇区
河野誠一郎 氏とする

二、投票結果 総数 五四名
賛成 五一名
反対 無

以上過半数の賛成をもちまして承認されました。

就任あいさつ

河野誠一郎

昨年3月末、農協を退職したところに声を掛けていただき、事務局でお世話になる事になりました。

神杉で生まれ育ち、神杉に暮すものとして、同じ時代に生まれた人々の、笑顔のある神杉が理想の故郷です。

コロナ禍の今、いろいろな制約はありますが、早期終息を願い出来ることはやり、元気な神杉を未来につなぐための活動を、地域の皆さんと共に取り組んでいきたいと思えます。

略歴

昭和三五年二月 生まれ

昭和五五年四月 三次市農協 入組

令和二年三月 三次農協 退職

令和三年一月 神杉自治連合会勤務



宜しくお願い致します。



1月・2月の行事予定

1月

- 4日(月) 仕事始め
- 6日(水) 書道講座
- 7日(木) パソコン講座
- 12日(火) 広報紙配布・三味線
- 13日(水) パン教室
- 14日(木) 大正琴
- 15日(金) パッチワーク講座
- 16日(土) 銭太鼓
- 17日(日) グランウンドゴルフ月例会
- 18日(月) 東部地区会長事務局合同会議
社交ダンス
- 19日(火) 三味線講座
- 20日(水) 書道講座
- 21日(木) パソコン講座・俳句講座
- 22日(金) 生花講座
- 25日(月) 社交ダンス
- 26日(火) 三味線・舞踊講座
- 28日(木) 絵手紙講座
- 31日(日) 囲碁大会(中止)
スキーツアー(中止)

2月

- 1日(月) 社交ダンス
- 2日(火) 三味線講座
- 3日(水) 書道講座
- 4日(木) パソコン講座
- 5日(金) パッチワーク講座
- 8日(月) 社交ダンス
- 9日(火) 舞踊・三味線講座
- 10日(水) 広報紙配布・パン教室
- 20日(土) 東部地区まちづくり講演会

山脈俳句会《十二月》

出勤の車追いかけて舞う枯葉

広川テル子

柚子湯入り今日も暮れたと手をさする

田原 洋子

葉牡丹を育てて贈る笑顔かな

中藤 博文

瀬戸内へ嫁ぎし娘蜜柑来る

加藤 茂夫

編集後記

コロナ禍での新年を迎えた。子どもたち家族の帰省もままならず、寂しい閉塞感のある正月であった。

海外でのワクチン接種の情報があり、日本では2月末からのこと。国民の3分の2以上が接種できれば日常生活に戻れるというが、我々はいつのことやら。

自治活動がうまくできることを願うばかり

新